



週刊 防衛副大臣 おにき 誠



岩国にてUS-2搭乗

海上自衛隊岩国航空基地を訪問し、日本が世界に誇る飛行艇 US-2に搭乗しました。

US-2は新明和工業が作った国産飛行艇です。陸からのみならず、海からも離発着できるのが特長です。航続距離は4,500km、海での遭難に対し飛行機の速さでかけつけ、高さ3mの波高まで海に降り立って救助することができます。ジャーナリストの辛坊治郎さんを救助した飛行艇と言ったほうが有名かもしれません。そんなUS-2の搭乗、まず地上からの離陸が早くて驚きました。救助者に見立てたダミーを上空から投下し、これを救助に向かいます。この日は西高東低冬型の気圧配置で波も立っていましたが、スムーズに着水。艇の底部を開けてゴムボートで救出に向かいました。救助後は水上から発進！海から空に飛び立ち、岩国基地への帰還は陸から揚がることになりました。基地手前の海に着水し、海からスロープ(すべり)を揚がって上陸しました。世界も刮目するUS-2ですが、限られた国内需要では採算も苦しく、事業の持続可能性は輸出の可否にかかっているようにも見えます。国民の命を救う場面で活躍する機材の貴重さは、能登半島地震でも痛感したばかりです。防衛産業を持続可能なものにせねばなりません。



岩国米海兵隊視察が Facebookで取り上げられました

MCAS Iwakuni のFBより引用。

This week, Japan State Minister of Defense Makoto Oniki toured Marine Corps Air Station Iwakuni and spoke with key U.S. and Japanese leadership to better understand the air station's operations, capabilities, and how the U.S. and Japan work together in Iwakuni to promote a free and open Indo-Pacific.



自衛隊高級課程合同卒業式出席が Facebookで取り上げられました

防衛省 (Japan Ministry of Defense) のFBより引用。

3月1日、鬼木防衛副大臣は、目黒基地に所在する統合幕僚学校で執り行われた自衛隊高級課程合同卒業式に出席し、陸・海・空の幹部自衛官等45名に対し訓示を行いました。

同校は、宇宙・サイバー・電磁波領域を含む領域横断的な統合運用の中核を担う幹部自衛官を育成しています。

